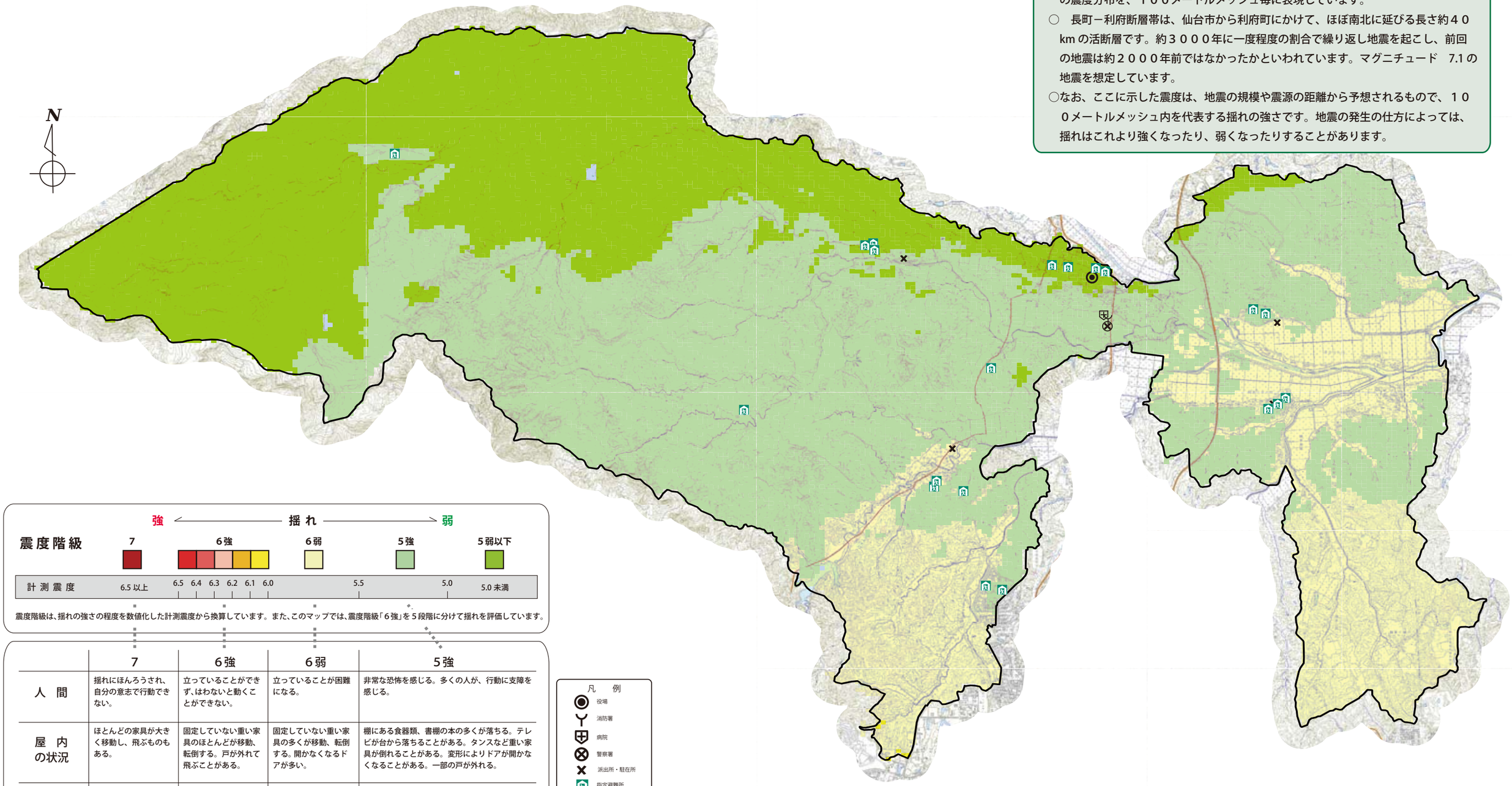
大和町地震防災マップ

揺れやすさマップ
（長町 - 利府断層帯の地震の場合の想定震度分布図）

○　この「マップ」は、活断層の地震である長町－利府断層帯の地震を想定した場合の震度分布を、１００メートルメッシュ毎に表現しています。

○　長町－利府断層帯は、仙台市から利府町にかけて、ほぼ南北に延びる長さ約４０kmの活断層です。約３０００年に一度程度の割合で繰り返し地震を起こし、前回の地震は約２０００年前ではなかったかといわれています。マグニチュード　7.1の地震を想定しています。

○なお、ここに示した震度は、地震の規模や震源の距離から予想されるもので、１００メートルメッシュ内を代表する揺れの強さです。地震の発生の仕方によっては、揺れはこれより強くなったり、弱くなったりすることがあります。



強 ← 揺れ → 弱

震度階級	7	6強	6弱	5強	5弱以下
計測震度	6.5以上	6.5 6.4 6.3 6.2 6.1 6.0	5.5	5.0	5.0未満

震度階級は、揺れの強さの程度を数値化した計測震度から換算しています。また、このマップでは、震度階級「6強」を5段階に分けて揺れを評価しています。

	7	6強	6弱	5強
人　間	揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。	立っていることができず、はわないと動くことができない。	立っていることが困難になる。	非常な恐怖を感じる。多くの人が、行動に支障を感じる。
屋　内の状況	ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。	固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛ぶことがある。	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。	棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。テレビが台から落ちることがある。タンスなど重い家具が倒れることがある。変形によりドアが開かなくなることがある。一部の戸が外れる。
屋　外の状況	ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されているブロック塀も破損するものがある。	多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。	かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。	補強されていないブロック塀の多くが崩れる。据え付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。多くの墓石が倒れる。自動車の運転が困難となり、停止する車が多い。

凡　例
- 役場
- 消防署
- 病院
- 警察署
- 派出所・駐在所
- 指定避難所
- 鉄道（新幹線）
- 高速道路
- 国道
- 水域

このマップは、宮城県第三次地震被害想定調査の成果を再構成し、町内の建築物耐震改修を促進するために作成したものです。
マップの基図は、国土地理院発行 25,000 分の 1 地形図を使用しています。

このマップについてのお問い合わせは、 大和町役場総務まちづくり課　までお寄せください。